

各位

積水化学工業株式会社

積水化学、NEDO「GENIAC」で生成AIを活用した非構造化データ活用の実証を開始

積水化学工業株式会社（代表取締役社長：清水 郁輔、以下「積水化学」）は、長期ビジョン「Vision 2030」の実現に向けたDX推進の一環として、株式会社フライウィールと協働し、製造業における非構造化データ活用に関する実証（以下「本実証」）を開始します。

本実証は、経済産業省およびNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が推進する、国内の生成AI開発力強化に向けたプロジェクト「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」の一環として実施するものです。

1. 背景

積水化学グループは、長期ビジョン「Vision 2030」の実現に向け、「Innovation for the Earth」を掲げ、社会課題解決への貢献とサステナブルな社会の実現に取り組んでいます。その一環として、デジタルを活用した業務改革と新たな価値創出を推進しており、これまで「グローバル経営刷新プロジェクト」を通じて、経営管理や業務基盤の高度化に取り組んできました。

本実証は、これまでの基盤整備から一歩進み、DXを業務効率化にとどめず、事業競争力の強化へと発展させていく取り組みです。製造現場には図面や手順書などの非構造化データが存在しますが、AIでの活用が困難でした。これらをAIで活用可能な状態に整備する「AI-Ready化^{※1}」は、製造業におけるDXを進める上で重要なテーマです。

2. 実証の概要

本実証では、株式会社フライウィールとの協働により、住宅事業における設計・製造プロセスを対象とし、属人化や手戻りの低減につながる業務変革の実現可能性を検証します。

株式会社フライウィールはAI-Ready化に関するシステム・ツールの構築および技術開発を担い、積水化学グループは住宅事業の設計・製造などの図面・設計情報・手順書などの非構造化データをもとに、実業務における有用性を検証します。

さらに、積水化学グループが培ってきた工業化住宅の知見や技術とAIを組み合わせることで、生産性向上を図るとともに、労働力不足への対応、品質や納期をはじめとする顧客価値の向上を実現することを目指します。

3. 今後の展開

本実証で得られた成果は、住宅領域にとどまらず、積水化学グループ全事業への展開も検討していきます。あわせて、今回の協働実証を起点に、さまざまな知見や技術を有するパートナーとの共創を進め、

業務・データ・AI を一体として連動させる仕組みを構築し、競争力強化を図っていきます。

積水化学グループは今後も、データと AI を活用した DX を推進し、社会課題解決への貢献と持続的な企業成長の実現に取り組んでまいります。

※1 AI-Ready 化：図面や設計図などの非構造化データを含む社内の情報資産を、AI で活用しやすい形に整備する取り組みです。データの意味や相互関係を整理し、安全かつ適切に管理することで、AI による検索・分析や業務活用につなげます。

以上

〈本件についてのお問い合わせ先〉

〈報道関係の皆様〉

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 担当：谷村

E-mail：kouhou@sekisui.com

〈報道関係以外のお客様〉

デジタル変革推進部 デジタル変革企画室 担当：上崎、中川

E-mail：dx-aistrategy@sekisui.com